

## 大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	41	大学等名	追手門学院大学
テーマ	テーマⅢ (入試改革)		

### 【総括評価】

S：計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

### 【コメント】

<優れている点>

- ・アサーティブ入試の志願者が順調に増えていること、アサーティブプログラムの受講者が相当の割合になってきたことなど、大学改革の成果があがっていることは評価できる。
- ・高等学校や教育委員会との定期的な意見交換、確実な学力把握措置、入学前教育と初年次教育の改革など、取組が着実に進捗していることは評価できる。
- ・学長を中心とした実施体制が構築されており、また、アサーティブ課とアサーティブ研究センターの発足、評価体制の確立等の取組が着実な成果に結びついている。アサーティブプログラムの実施や MANABOSS システムのソフトウェアとコンテンツの開発により、新しいタイプの入学選抜と教育システムが大学の特徴としてアピールでき、多くの大学のモデルになり得るのではないか、という期待ができ、評価できる。
- ・本プログラムに関する大学の取組が着実に広報され、成果に結びついていることは評価できる。